

ベータプレミアム3システムは、
リトル・サイエンティストの独自理論に基づいて開発した
傷んだ髪を健康な生まれたての状態に近づける
システムトリートメントです。

■髪が傷むメカニズム

カラーやパーマなどのケミカル施術、
ブラッシングなどの摩擦、
キューティクルの剥離やCMCの流出などによって、
髪は傷んでいきます。

傷んだ髪は、硬くなってパサついたり、
ツヤや手触りが低下して、
決して美しい状態とは言えません。

ベータプレミアムは、髪が傷むメカニズムを解析し、
効果的に補修するシステムとして、
リトル・サイエンティストの開発力を
惜しみなく注ぎ込んで誕生したトリートメントです。



■だからこそ、毛髪診断

髪が傷んだ状態は、人それぞれ。全く同じ状態などありません。

だからこそ、毛髪診断が重要となってきます。

リトル・サイエンティストでは、この毛髪診断がその後の補修を決めると言っても過言ではないと考えています。

ダメージレベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
ウェット時の感触	弾力がある。	弾力がやや少ない。	弾力が少ない。	弾力を感じにくい。	溶けるような感じがする
髪の状態	キューティクルがやや広がっているが、CMCの流出はほとんどない。	キューティクルが広がり、CMCの流出が始まっている。	キューティクルが剥がれだし、部分的にCMCが流出している。	キューティクルが大きく剥がれて、CMCが流出し、内部の空洞化が進んでいる。	キューティクルがほとんど剥がれてしまい、CMCがなくなり、内部がほとんど空洞化している。

■補修のプロセスを組み立てる

傷んだ髪を補修するプロセスとして、

1st「路づくり／内部補修」、2nd「引きしめ／接着」、3rd「引きしめ／外部補修」

の3ステップとして、順を追って施術することで、効果的に高いレベルの補修を行うことが可能となります。

■ベータプレミアムを使うとき

ベータプレミアムを使うときは、毛髪診断の結果からよく判断して対応する必要があります。
ダメージレベルを5段階としたときのLv.4～5のハイダメージ毛の場合には、
ワクワクneoを1アイテム追加すると、より幅広く対応することができます。



■そして・・・

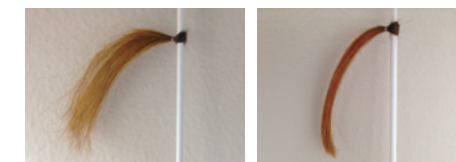
今まで感じたことのない美髪が、目の前に広がります。

1ランク上ではなく、2ランク上の
「しっかりとした補修」、「美しいツヤ」、「柔らかい質感」、「高い持続性」を
サロンワークで体感してください。

お客様の喜びが、笑顔になって表れる。ベータプレミアム3システム。

しなやかな髪へ

リトル・サイエンティスト独自成分である、
水鳥の羽から抽出した高分子Φ型ケラチン^{※1}。
このケラチンが、軽くてしなやかな髪に補修します。

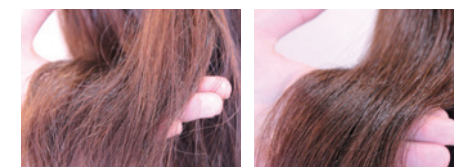


パサついた髪

まとまりのあるしなやかな髪

ツヤ髪へ

キトサン、18-MEA^{※2}を用いた、リトル・サイエンティストならではの「擬似キューティクル」。
内部に導入した補修成分を定着させるとともに、
擬似キューティクルによってツヤが蘇ります。

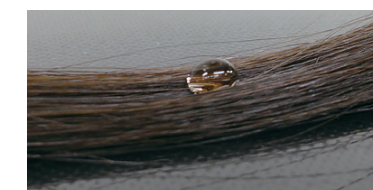


ツヤのない髪

ツヤ髪

健康な生まれたての髪へ

内部補修→引きしめ・接着→外部補修と順を追って
補修することによって、髪を健康な生まれたての状態に戻します。この状態を「疎水」な髪といいます。



※1 ヒドロキシプロピトリモニウム加水分解ケラチン(羽毛) ※2 クオタニウム-33

ベータプレミアム3システム 基本のフロー

リトル・サイエンティストのベータプレミアム3システムは、特別な道具は使いませんが、少しだけコツがあります。下記のフローに従って、コツをつかみながら施術してください。

	1st	2nd	3rd
ショート	15g以下	15g以下	5g以下
ミディアム	20g	20g	10g
ロング	25g以上	25g以上	15g以上
所要時間	約4分	約6分	約6分

※表は、あくまでも目安です。
※根元に塗布するとべたつきやすくなるので注意してください。

シャンプー

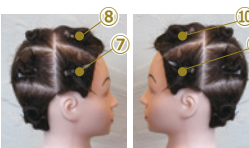
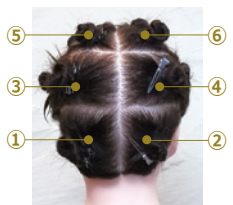


トリートメントが必要な髪は基本的に傷んでいるので、ダメージケア用シャンプーを使用します。髪や頭皮についた汚れをしっかりと洗い流します。



【ブロッキング】

サイド:2ブロック
バック:6ブロック
に分け、バックの下から施術を行っていきます。



1st 路づくり → 内部補修

β-BETA
ファイベータ



①塗布する
しっかりタオルドライした後、ファイベータを根元から毛先まで「たて」に塗布します。



②コーミング
コーミングしてしっかりなじませます。



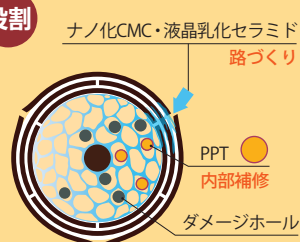
③もみ込む **コツ!**
塗布後、2～3分を目安に全体をもみ込みます。「プルン」としたハリ・コシが確認できたら、2ndステップへ進みます。

1st
ムービー



<https://youtu.be/l5xYtM3yCoM>

役割



まず、髪内部のCMCに液晶乳化セラミド*1とコレステロールを浸透させ、路を整えてベースを作ります。次に、コルテックス内部に疎水性Φ型ケラチン*2などのPPTを導入して補修します。

ワンポイントアドバイス

- しっかりもみ込むことがポイントです。
- しっかりとさせるにはファイベータを。
- 軽いサラッとした仕上がりにするには、「3種ミスト5倍希釈」(ワクワクneo 3種混合原液1 : ワクワクneo ミスト4)に替えます。

補修の成否を意識する。

2nd 引きしめ → 接着

④使い分ける

2ndステップでは髪質にあわせてパウダーエマルジョンとハイエマルジョンを使い分けます。

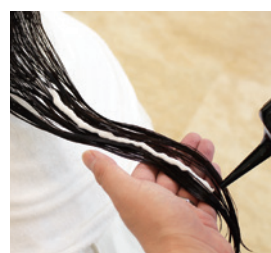
軟毛・細毛・普通毛

Powered - E
パウダーエマルジョン

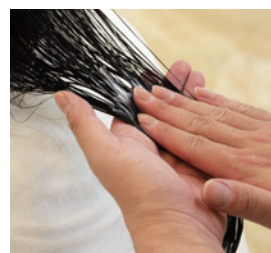


剛毛・バサついた硬い髪

Hi-Emulsion
ハイエマルジョン



⑤塗布する
パウダーエマルジョンまたはハイエマルジョンを毛先1/2に「たて」に線を描くように塗布します。



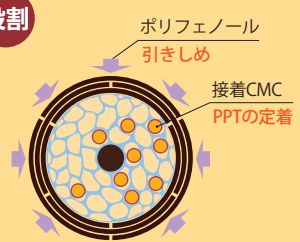
⑥伸ばす **コツ!**
毛先から中間、さらには根元付近まで伸ばしていきます。

2nd
ムービー



<https://youtu.be/hHquMkNzKFI>

役割



コルテックスに導入されたPPTが抜けないように、膨潤した髪をポリフェノール*3で引きしめながら、接着CMC*4を補給してコルテックス同士を接着します。このとき、液晶乳化セラミド*1が導入されているので、ラメラ構造を形成して髪がよみがえります。

ワンポイントアドバイス

- 髪質、ダメージレベルにあわせて、ハイエマルジョンを使い分けましょう。
- 根元につけすぎると重くなるので注意してください。

ココで質感が決まる。

3rd 引きしめ → 外部補修

Powered - β
パウダーベータ



⑦塗布する
パウダーベータを毛先1/3に「たて」に線を描くように塗布します。
※ダメージが中間や根元まで及ぶ場合は塗布量を増やします。



⑧伸ばす
毛先から中間、あるいはダメージの部分まで伸ばします。



⑨もみ込む **コツ!**
キューティクルをならすように、丁寧になじませます。ぬるっとした感覚がなくなるまでもみ込みます。
※もみ込むと「ヌルヌル」とした感覚から、髪表面が滑りにくくなって「キュキュット」または「ググツ」とした引っかかる感触に変わります。



⑩コーミング
全体を軽くコーミングしてなじませます。

3rd
ムービー



<https://youtu.be/5-rW4zTpo9c>

役割



フルーツ酸*5とチャカテキンで髪を等電点に戻し、さらに髪を引きしめます。最後に、キトサン*6により擬似キューティクルが形成され、18-MEA*7で皮脂の通る路を再生させることにより、ダメージを受けた髪にツヤが戻ります。

ワンポイントアドバイス

- よりしっかりとさせるには、塗布量を多めに。
- より軽い仕上がりにするには、塗布量を少なめに。
- キュキュットした感じにならないときは、「ワクワクneo ポリK 10倍希釈」を重ねて塗布してください。
- 根元につけすぎると重くなるので注意してください。

つけすぎ注意。 仕上がりを追及する。

お流し・仕上げ



しっかりと流します。トリートメントが地肌や髪に残っていると、地肌のべたつきや髪の質感の低下につながるがあるので、注意してください。

Total
ムービー



https://youtu.be/_gdTh3LoR4Y

※1 セラミドNG
※2 ヒドロキシプロピルトリモニウム加水分解ケラチン(羽毛)
※3 カキタンニンまたはクロフサスグリ果実エキス
※4 ミツロウまたはワサビノキ種子油
※5 乳酸
※6 ヒドロキシプロピルキトサン
※7 クオタニウム-33